

学校教育目標	○興味と関心を広げ、めあてをもって進んで解決しようとする子を育てます。(知) ○自分も友達も思いやる、心豊かな子を育てます。(徳) ○生命を大切に、健やかな心と体をつくる子を育てます。(体) ○地域の人やものを愛し、責任ある行動力と判断力をもつ子を育てます。(公) ○社会の変化に柔軟に対応し、国際感覚を身につけ、生き抜く力をもつ子を育てます。(開)				
	創立 48 周年 児童生徒数: 515 人	学校長 中村 英治 主な関係校: もえぎ野中学校、市ヶ尾小学校	副校長 市川由紀子	2 学期制	一般学級: 16 個別支援学級: 3

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	○○中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
〈自分づくりに関する力〉 〈対話力の育成〉 〈主体的に学ぶ力の育成〉	もえぎ野中学校 もえぎ野小学校 市ヶ尾小学校	○自他を大切にし、協働的に行動できる子ども ○夢や希望をもち、自分らしさを発揮できる子ども ・小中合同授業協議会で自己肯定感を育てる授業づくりや教育活動を研究推進する。 ・児童生徒指導、特別活動、特別支援教育等の情報交換を実施する。 ・ブロック教務会で、小中一貫教育の効果的な推進スケジュールを検討する。 ・地区懇談会で地域や保護者とともに児童・生徒も参加し様々な意見交換・交流の場とする。

中期取組目標	○魅力あるわかる授業をつくり、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図ります。 ○あいさつをはじめとした礼儀や規範意識を大切に、人権意識を育て、心身共に豊かな子を育てます。 ○自分を見つめ、自分の体に興味をもち、心身共に健康な体をつくろうとする子を育てます。 ○「横浜の時間」を中核に、異学年活動や地域とのふれあい活動を通して、地域の材を生かして学習を進め、地域を愛する子を育てます。 ○様々な人とのコミュニケーションを通して、社会への視野を広げる子を育てます。
--------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>知</b> 生きてはたらく知 担当 重点研推進委員会	①重点研究テーマを「主体的に取り組む子どもの姿を目指した発問・問い返し」と設定し、算数科を中心に分かる楽しさを大切に、主体的に考える力を育てる授業を目指す。②「学習スタンダード」を意識した授業展開を図るとともに、T.Tや教科担任制を効果的に取り入れ、基礎・基本の定着を図る。
<b>徳</b> 豊かな心 担当 道徳部	①全教育活動を通して、道徳教育の充実を図る。特に「特別の教科 道徳」の充実を図る。 ②健康教育を柱として、指導を行う。学校教育目標を具現化するため、「あいさつ・いのち・うんどう・えがお・おもいやり」を合言葉として児童に分かりやすく意識づけする。
<b>体</b> 健やかな体 担当 健康教育・体育部	①児童の実態を把握し、体育の授業改善を図る。体力向上一校一実践運動の内容を充実させる。 ②体力テストの結果等を保護者と共有し、家庭と連携して体力の向上、生活習慣の改善を図る。 ③教職員の体育科指導法のレベルを向上させるために、体育用具等の準備や使い方などの校内研修を通年で行う。 ④教職員の安全研修を充実させ、児童の体育科における事故防止につなげる。
<b>公</b> 自分づくり教育 (キャリア教育) 担当 特活部	①学級活動の充実を図る。学級で話し合い、様々な意見に触れた上で、個人としては何をしていくかという目標を意思決定する力の定着を図る。②他の児童と積極的に交流をし、将来について話し合う。多様な考えや価値観に触れることで、自分自身の選択肢を広げる。
<b>児童指導</b> 担当 児童指導部	①「学校のきまり」を見直したことを基に、全職員で共通理解して指導にあたる。 ②職員会議内に児童理解の内容を定例化し、児童の状況を共通理解する。
<b>特別支援教育</b> 担当 特別支援教育部	①特別支援教室を活用し、子ども一人ひとりに合った支援を探る。 ②関係機関との連携を深め、全ての教師が子どもの特性を理解できるような機会を設ける。
<b>健康教育(食育)</b> 担当 健康教育・食育部	①学校保健委員会を充実させ、年間を通じてテーマに沿って取り組むことで健康への興味関心の向上を図る。 ②家庭科・生活科・総合的な学習の時間等の学習で、食教育との関連を図り、関心や理解を深める。
<b>いじめへの対応</b> 担当 いじめ防止対策委員会	①児童への定期的なアンケート、面談を実施する。 ②「子どもの社会的スキル横浜プログラム」を授業や学校行事の場面で活用する。 ③だれもが安心して参加でき、自尊感情を高める授業づくり・集団づくりを進める。
<b>人材育成・組織運営 (働き方改革)</b> 担当 教務部・メンター	①重点研究会を中心に、全教職員で授業力・指導力の向上に努める。メンターチームを活用し、キャリアステージに応じた効果的な研修を実施する。 ②学校組織を見直し、教職員一人ひとりが力を発揮できるようにする。
<b>GIGA・ICT教育</b> 担当 情報部	①タブレットを活用し、児童ごとの学習状況に応じた教育の最適化の実現や協働的な学びの実現を目指す。 ②プログラミングを通して、論理的に物事を考えるプログラミング的思考を育み、コンピューターをより適切に、効果的に活用できるように、その仕組みの一端を学んでいく。